



佐潟の間伐材と葦（よし）、中原邸の竹でつくった東屋と大パノラマ



見晴らしの丘(板藤の丘)からの眺めは最高！

日本一長い新潟砂丘やラムサール条約登録湿地の佐潟といった自然の豊かさと広大な砂丘畑や漬物工場群などがある地元赤塚の魅力を再発見し、未来につなげていくことを目的として新潟砂丘遊々会が結成されました。

新潟砂丘遊々会は『赤塚ガイドブッカーまち歩き&砂丘歩き』を作成した「赤塚・佐潟地図研究会」の構成メンバーである「コミュニティ佐潟」「赤塚・中原邸保存会」「佐潟と歩む赤塚の会」「赤塚郷土研究会」「赤塚・佐潟歴史ガイド」の代表、会員らで構成され、新潟国際情報大学が事務局を担当しております。

2018年度は、事業として砂丘の清掃活動（2回）、砂丘ウォーキング（3回）、「未来につなげる赤塚の魅力」と題したシンポジウムと“赤塚の未来を考える”

ワークショップを実施しました。砂丘の高みからの眺望を楽しむために、見晴らしの丘に地元の間伐材、葦や竹を使って東屋を仮設しました。東屋からは、太田和宏氏が制作した三面の大パノラマと併せ、砂丘畑、角田山から遠くの山々や佐渡の風景を存分に楽しむことができました。

引き続き、砂丘の清掃活動や砂丘ウォーキングルートの整備（道しるべの設置など）を行うとともに、地元の農家さんたちとの交流等を通し、赤塚のまち、佐潟や御手洗潟、そして新潟砂丘の魅力を高める活動を展開してまいります。

- 7月21日(土)、8月25日(土)、10月6日(土) 砂丘ウォーキング（新潟市西区赤塚地区に位置する砂丘地）
- 9月15日(土) シンポジウム（新潟国際情報大学）